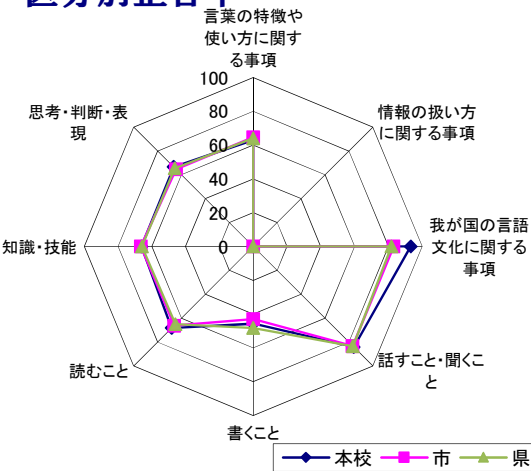


宇都宮市立瑞穂台小学校 第5学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	言葉の特徴や使い方にに関する事項	63.1	64.7	64.1
	情報の扱い方にに関する事項	0.0	0.0	0.0
	我が国の言語文化にに関する事項	93.2	83.1	81.9
	話すこと・聞くこと	84.1	83.3	83.4
	書くこと	45.6	42.8	48.2
	読むこと	68.2	66.1	65.1
観点	知識・技能	66.1	66.5	65.9
	思考・判断・表現	66.6	64.6	65.5



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方にに関する事項	正答率は市平均とやや下回る(−1.6ポイント)。 ○漢字を読む問題では、全ての問題の正答率が市平均を上回る。 ●漢字を書く問題では、平均正答率が市平均を下回るものがある。送り仮名まで覚えることに課題が見られる。 ●文の中の修飾・被修飾の関係を捉える問題の正答率は4.1%で、市平均を大きく下回っている(−8.3ポイント)	・漢字の読み書きの学習では、熟語や送り仮名も合わせて漢字を覚えるよう指導する。 ・修飾語の学習では、文を文節に分け、修飾・被修飾の関係を明らかにして指導する。 ・ノート指導や作文の指導の際は、言葉同士の関係を意識するよう指導する。
我が国の言語文化にに関する事項	正答率は市平均を大きく上回っている(+10.1ポイント) ○「ちりも積もれば山となる」を正しく使っている文を選ぶ問題の正答率は93.2%で、市平均を大きく上回る(+10.1ポイント)。	・今後も引き続き、普段の会話で慣用句を使用したり、本やカードなどを準備して慣用句に触れる機会を設けたりする。
話すこと・聞くこと	正答率は市平均と同程度である(+0.8ポイント)。 ○話し合いの目的を確認し、意見の共通点や相違点に着目しながら、自分の考えを書く問題の正答率は90.5%で、市平均を上回る(+4.7ポイント)。 ●話の中心を明確にするための話し手の工夫を捉える問題の正答率は78.4%で、市平均を下回る。(−3.9ポイント)	・話し手の意図や話し方の構成を捉えながら最後まで聞くように指導する。 ・他教科でも、話の中心を確認しながら話し合い活動に取り組むよう指導する。
書くこと	正答率は市平均を上回る。(+2.8ポイント) ○指定された文章の長さで書くことや、自分の考えを書くことはよくできている。 ●指定された段落構成で文章を書くことや、作文用紙の使い方に課題が見られる。	・昨年度から国語を中心に継続して指導してきた成果で、習熟が図れた。今後も自分の考えを支える理由や事由を明確にして指導する。 ・学校や学年の行事ごとの振り返りを内容ごとに段落にまとめ記すなどして、作文用紙の使い方の定着を図る。
読むこと	正答率は市平均を上回る。(+2.1ポイント) ○叙述をもとに文章の内容を捉えることは、概ねできている。 ●前後の文から状況や登場人物の気持ちを読み取る問題の正答率が約4割と低い。	・叙述をもとに文章の内容を捉え、文中の言葉に着目しながら理由を問うなど、具体的に想像できるように指導する。